

2021年6月22日

各 位

株式会社ビーマップ
有限会社菁映社
株式会社フジテレビジョン

「大江戸今昔めぐり」“市中引き回し”スタンプラリー大好評！
記念品・古地図扇子についてのお詫びとお知らせ

大江戸今昔めぐり

株式会社ビーマップ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉野 文則、以下ビーマップ)、有限会社菁映社(東京都豊島区／代表者：旗禮 直喜)、株式会社フジテレビジョン(東京都港区／代表者：遠藤 龍之介)から構成される大江戸今昔めぐり製作委員会(以下、製作委員会)が提供するスマートフォン向け古地図アプリ「大江戸今昔めぐり」(以下、本アプリ)において、“市中引き回し”のスタンプラリーを実施することをさる6月18日に発表したところ、おかげさまで大きな反響をいただいております。すでにスタンプラリーに参加し、全66スポットを踏破された方もいらっしゃいます。



《市中引き回しのイメージ》⁽¹⁾

製作委員会の想定を超えてご参加をいただいているため、スタンプラリー達成者の方にお渡しする記念品の古地図扇子の一時的な在庫切れが予想されます。急遽追加の手配を行いました。達成者の方がお渡し場所の株式会社ビーマップ本社にお越しいただいた際に記念品をご用意できない可能性があります。もし記念品をお渡しできなかった場合、発送先のご住所をお預かりし、後日郵送する対応を取らせていただきます。発送は7月中旬以降を予定しています。また、7月中旬以降に達成された場合

は記念品を手渡しいたします。

スタンプラリー参加者の方にはご迷惑をおかけし申し訳ございませんが、ぜひスマホ片手に“市中引き回し”スタンプラリーをお楽しみいただけましたら幸いです。

■「市中引き回しラリー」概要

スポット数…全66スポット

開催時期…現在開催中(終了時期未定)

参加費…無料

参加方法・スポット情報などの詳細は本アプリ内「スタンプラリー一覧」からご確認ください。

■記念品(古地図扇子)イメージ



©大江戸今昔めぐり製作委員会、(有)菁映社、(株)APPカンパニー、中川恵司

■アプリ「大江戸今昔めぐり」概要

本サービスでは、ベースとなる江戸末期の古地図を、人の手による「完全描き起こし」で再現しました。スマホ上で現代図と古地図を重ね合わせることが容易になり、文字も見やすくなりました。さらに、地図の透過度を自由に変えられる機能も搭載。スマートフォンや、タブレットでご利用可能です。

■ホームページ

<http://www.edomap.jp/>

■ダウンロード



App Store



Google Play

■スポット情報協力

猫の足あと(<https://tesshow.jp/>)

■地図に関わる許諾表示

大江戸今昔めぐり製作委員会提供の“大江戸今昔めぐり”サービスにおける、御府内図の復元古地図の著作権は「(有)菁映社、(株)A P Pカンパニー、中川恵司」に帰属します。

現代地図、航空写真は、Google マップを利用しています。

(1)画像出典：CHAPTER VIII.CRIMES AND PUNISHMENTS."Sketches of Japanese manners and customs" Jacob Mortimer Wier Silver, 1867 <https://www.gutenberg.org/files/13051/13051-h/13051-h.htm#page34>

※ Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Googleマップ、Google マップロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。

※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

※Apple ロゴ、iPad、iPhone、iOSは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

※その他の製品名および企業名は、各社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ビーマップ 事業推進本部 モビリティ・イノベーション事業部 担当：西沢

電話：03-5297-2182

お問い合わせフォーム <https://www.bemap.co.jp/contact/contact.php>

ビーマップは、交通、通信、メディア、流通、外食と社会のインフラになるサービスを高度な技術で支えています。

